

実践記録

| | | |
|-------------------------|---|---|
| 学校/学年 | 小学校 / 5年 | |
| 教科等: 単元名 | 社会科: 「情報化した社会とわたしたちの生活」 (情報を生かすわたしたち) | |
| キーワード | メディアリテラシー 個人情報 インターネット (携帯電話) 犯罪 | |
| 情報モラル指導モデルカリキュラム表における目標 | 分類 | <input type="checkbox"/> 情報社会の倫理 <input type="checkbox"/> 法の理解と遵守 <input checked="" type="checkbox"/> 安全への知恵 <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ <input type="checkbox"/> 公共的なネットワーク社会の構築 |
| | 大目標項目数字 大目標項目内容 | e 3 : 情報を正しく安全に活用することに努める |
| | 中目標項目番号 中目標項目内容 | e 3 - 2 : 自他の個人情報を、第三者にもらさない |
| 授業会場 | <input checked="" type="checkbox"/> パソコン教室 <input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 [] <input type="checkbox"/> その他 [] | |
| 学習の目標 | 情報を活用する上での課題を資料から考え、問題点と対策を話し合うことにより、情報を選んだり発信したりするとき気を付けることができる。 | |
| 使用教材 | 教材名 | 目立つ「低年齢化」「放任」～ 子どものインターネット利用 |
| | 製作者 | S o - n e t セキュリティー |
| | 入手先(URL 等) | http://www.so-net.ne.jp/security/news/newstopics.html |

○展開案

| | 学習活動 | 指導 評価◎ |
|-----|--|--|
| 導入 | 1, パソコンのインターネットと携帯電話の普及率をグラフから読み取る。 2, インターネットが原因の犯罪や個人情報が漏れた事件について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 資料から情報化の進展により生じる問題点を事例により具体化して捉えさせる。 個人情報を認識させ、その流出や携帯電話とインターネットによる犯罪が低年齢化し、身近な問題として考えさせる。 |
| 展開 | 3, インターネットや情報ネットワークで発信するとき気を付けることを話し合う。 4, メディアリテラシーの大切さについて考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 意図的に添付されたバグファイルや無責任な情報の発信がどのような迷惑をかけ、流出情報により傷つく人がいることを掴ませる。 情報化社会とよりよくなかかわっていくためのメディアリテラシーの必要性を実感させる。 |
| おわり | 5, 情報受け取る時や情報を発信するとき気を付けることをまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> 実際に自分がかかわる情報機器やインターネットで、具体的に気を付けたり改善できることを発表させ、学び合わせる。 |

○授業の成果

- 児童の家庭でのインターネットを利用率が高く、インターネットを通して調べたりすることが日常化し、子どもたちもそれを『楽しい』と感じているからこそ、小学生のネット犯罪や個人情報の流出事件には衝撃を受けたようで、特にインターネットを通じた金銭トラブルには反応が多かった。メディアリテラシーについて考えたことにより、溢れる情報から判断したり選択したりする能力が問われている事とこれまで不要と捉えていたパソコンのiフィルター等のセキュリティーの重要性を実感していた姿がみられた。

○指導のポイント・留意点

- 情報が双方化する中で、発信する側の責任や受け取る側の立場への視点をと捉えさせる。